

# キャンパス点描

## 国際交流留学生プラザ竣工式を開催しました

国際交流留学生プラザ(英語名:Hisao & Hiroko TAKI PLAZA)は、国際交流・地域貢献・世代間交流の3つの目的をもつ集いの場として建設されました。建設にあたり、未来開拓基金への滝久雄(株式会社ぐるなび 株式会社NKB創業者 本学学長特別顧問)・裕子御夫妻と同窓生からのご寄附をはじめとして、教職員・在校生を含む多くの方々からのご支援を頂きました。



国際交流留学生プラザの外観(上)と内観(下)

設計は、隈研吾建築都市設計事務所により、自然豊かなキャンパスとの調和を図りながら進められました。

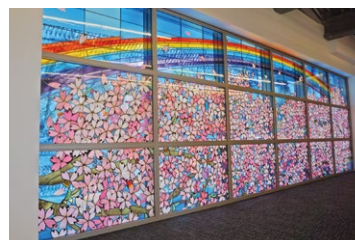
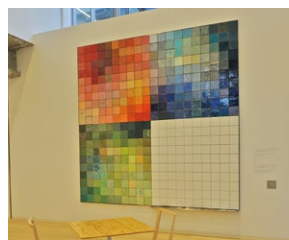
また、各階には日本画家の中島千波氏、現代美術家の日比野克彦氏、金工作家の宮田亮平氏によるパブリックアートが設置され、本プラザに集う皆様に快適に過ごしていただける空間となりました。

2019年3月28日の竣工式では、室伏きみ子学長の挨拶、澤和樹東京藝術大学長によるパイオリンの祝賀演奏(タイスの「瞑想曲」)に続いて、滝久雄氏、隈研吾氏、中島千波氏、日比野克彦氏からお言葉を頂戴しました。滝久雄氏からは、室伏学長とのご縁から、国際交流が盛んで外国人留学生の受入に積極的な本学の取組みを知り、交流施設建設のための寄附に至ったという経緯や、国籍も言葉も年齢も超えた交流のために今後本プラザを役立てて欲しいという希望が述べられました。また、中島千波氏からはステンドグラスの原画の寄贈も行われました。竣工式に続いて、日比野克彦氏作品「レッツ3つの色」、中島千波氏作品「櫻花爛漫」、及び宮田亮平氏作品「シュプリングン<世界に向かって>」の除幕式が行われました。

内覧会の後は祝賀会が行われ、伯井美徳文部科学省高等教育局長、成澤廣修文京区長、内田伸子桜蔭会長から祝辞をいただきました。祝賀会ではお茶大生によるパフォーマンスも行われ会場を大いに盛り上げていました。

竣工式・祝賀会には約130名が参加し、盛況のうちに閉式となりました。今後このプラザが様々な活動や情報交換の場として積極的に活用されることが期待されます。

右:宮田亮平氏作品「シュプリングン<世界に向かって>」  
左下:日比野克彦氏作品「レッツ3つの色」  
右下:中島千波氏作品「櫻花爛漫」



竣工式の様子

## 日鉄ソリューションズとネーミングライツに関する協定を締結しました



大学食堂の愛称名看板



共通講義棟3号館409室(情報科学講義室(11))の愛称名看板

国立大学法人お茶の水女子大学(所在地:東京都文京区、学長:室伏きみ子、以下お茶の水女子大学)と日鉄ソリューションズ株式会社(旧:新日鉄住金ソリューションズ株式会社)本社:東京都中央区、代表取締役社長:森田宏之、以下NSSOL)は、大学施設のネーミングライツ(施設命名権)取得に関する「国立大学法人お茶の水女子大学ネーミングライツに関する協定書」(以下「本協定」)を2019年3月22日に締結しました。

お茶の水女子大学は、教育研究環境向上を図るための財源獲得を目的に、ネーミングライツ制度を2019年2月に導入しました。このたび、大学食堂と共通講義棟3号館409室(情報科学講義室(11))のネーミングライツ公募にNSSOLが応募し、選

定委員会による審査を経て、ネーミングライツ・パートナーに選ばれました。2019年4月から2022年3月まで、各施設の名称は「NSSOL Kitchen(大学食堂)」と「NSSOL IS-Room(409情報科学講義室(11))」になります(※ISはInformation Sciencesの略)。

お茶の水女子大学が、学内施設のネーミングライツ(命名権)に関する協定を締結するのは初めてとなります。対象施設の大学食堂は、学生や教職員等年間延べ11万人が利用しています。共通講義棟3号館409室(情報科学講義室(11))は、主に理学部情報科学科の学生が専門課程の講義を受講する教室です。

NSSOLは、情報技術のプロフェッショナルとして社会・経済の持続的な発展に貢献していくと共に、これまで複数の大学で寄付講義や講師派遣、インターンシップの受け入れ、奨学金の提供など産学連携を推進し、これからの社会に求められる次世代人材の育成に貢献されてきました。

本協定を機にお茶の水女子大学とNSSOLは、両施設の愛称名が多くの学生に親しまれ、定着するよう努め、教育研究環境の一層の充実に取り組み、産学連携を強化します。

## みがかずば奨学金授与式及び学部生成績優秀者 奨学金授与式を挙りました

2019年5月27日、2019年度みがかずば奨学金授与式及び学部生成績優秀者奨学金授与式を挙りました。

みがかずば奨学金は、お茶の水女子大学へ入学を希望する受験生に対して、入学後の生活の目処をたててもらふことを目的として2011年度に設立されたものです。今年度は、入試前に出願して内定を得た者の中から、本学に入学した20名の学部1年生が受賞者となりました。

学部生成績優秀者奨学金は、学部3年生に在籍する者のうち、1・2年次の成績、人物が特に優秀と認められた学生について、これまでの努力を評価し、今後一層の勉学を奨励することを目的として2011年度に設立され

たものです。今年度は、学部1・2年次から引き続き在学する本学学部3年生（中途に休学期間がない者に限る）の中から、厳正なる審査の結果、25名の学生が受賞者となりました。

式典では学内教職員臨席のもと、森田理事・副学長から賞状を授与されました。

また、学長、遠藤桜蔭会副会長、神崎後援会会長からお祝いと励ましの言葉がかけられ、各奨学金受賞者の中から1名ずつが、代表として謝辞と今後の学修・学生生活への意気込みについて挨拶を述べました。



みがかずば奨学金



学部生成績優秀者奨学金

## 桜蔭会研究奨励賞・大学院博士後期課程研究奨励賞・錦織チサ工 奨学金・アバナード奨学金・KSP-SP奨学金授与式を挙りました

2019年5月29日、2019年度桜蔭会研究奨励賞・大学院博士後期課程研究奨励賞・錦織チサ工奨学金・アバナード奨学金・KSP-SP奨学金授与式を挙りました。



桜蔭会研究奨励賞は、平成19年に本学同窓会の桜蔭会の助成により発足し、平成25年度入学者より一部制度を変更し入学前予約型奨学金となりました。本学学部から大学院博士前期課程に進学した学生に贈られるもので、今年度は20名が受賞者となりました。

大学院博士後期課程研究奨励賞は、大学院生（博士後期課程）奨励基金をもとに平成25年度入学者から設立した入学前予約型奨学金です。本学大学院博士前期課程から大学院博士後期課程に進学した学生に贈られるもので、今年度は7名が受賞者となりました。



錦織チサ工奨学金は、平成27年度の大学院博士後期課程入学者から設立された入学前予約型奨学金です。寄附者の錦織チサ工様は、昭和38年3

月に本学文教育学専攻科を修了され、都立高校の国語科教諭をされておりました。本学大学院博士後期課程に引き続き進学する学生の研究奨励に資するご意向によるもので、今年度は2名が受賞者となりました。



アバナード奨学金は、アバナード株式会社様からのご寄附によって平成29年度入学者から設立された入学前予約型奨学金で、本学理工系分野の学生の学修支援を目的としています。今年度は学部1年生1名と大学院博士前期課程1年生1名が受賞者となりました。

KSP-SP奨学金は、株式会社KSP-SP様からのご寄附によって昨年度から新たに設立された入学前予約型奨学金で、マーケティング分野を志す本学大学院博士前期課程の学生の学修支援を目的としています。今年度は3名が受賞者となりました。



式典では学内教職員臨席のもと、室伏学長から賞状を授与されました。

また、学長、桜蔭会会長の高崎様、錦織様、アバナード株式会社COOのRoberto Pietra様、株式会社KSP-SP代表取締役社長の山中様からお祝いと励ましの言葉がかけられました。

## キャンパス点描